

## 第2回 久木会館建替えワークショップ 議事概要

■開催日時：2023年（令和5年）5月13日（土） 10：00～12：00

■開催場所：久木会館

■参加者：公募市民：10名（欠席1名）

小林由高ファシリテーター（市民交流センター副館長）

市民協働課（西久美子係長、今野仁介主事（議事録作成者））

### ■配付資料

- ・久木会館各種図面（案）
- ・久木会館の防災上の位置づけ（防災安全課作成）
- ・久木会館備蓄品（防災安全課作成）
- ・久木会館備品一覧（久木会館より提供）

### ■議事

#### 1. あいさつ、進め方

（小林由高ファシリテーター）

・本日のワークショップ（以下、WSとする）について、前回WSにおける確認事項を共有後、付箋等を用いてメンバーでアイデア出しが出来ればと思う。

・スケジュールの再確認になるが、全4回のWSを行った後、WSの意見を踏まえて作成した素案に対してパブリックコメントを実施し、広く意見を募集する予定である（募集期間6月26日～7月25日）。また、WSの議論をまとめた報告書を事務局が作成し、メンバーに確認いただいたうえで教育部へ提出する。

・前回の欠席者から自己紹介があり、久木会館についての思いや考えを述べた。

#### 2. 第1回WS確認事項の共有

##### ① 現在の久木会館の寸法入りの図面

（小林由高ファシリテーター）

・多目的室の最大利用人数等、目安になる基準を教えてください。

（メンバー）

・多目的室Cについて、最大利用人数は10名前後である（麻雀、生け花教室等）。多目的室Bについては52名程度となっている。

（メンバー）

・多目的室Bについて、久木住民協の総会ではオープンスペースも含めて使用し、80名程度が参加している。

(メンバー)

・コロナ以前に実施していたみんなの食堂には、100名程度の参加があったと記憶している。

(小林由高ファシリテーター)

・一般的に100名程度の人数が参加するイベントにおいて、施設のスペースがどれくらい必要かということを確認する必要があるかもしれない。

(メンバー)

・机の収納場所や洗面台の配置についても検討する必要がある。

(メンバー)

・前回WSで議論となった採光の問題もある。新しい会館は窓が2面になってしまうため、暗くなってしまう部屋があるという部分は考慮しなくてはいけない。学童の図面を見ると、北側に階段が設置されているが、久木会館の採光に影響はないのか

## ② 新しい学童施設のレイアウト図面

(小林由高ファシリテーター)

・隣接する学童から発生する音等の影響について検討するために、図面を用意してもらった。レイアウトを確認してみたが、そもそも音が発生する活動については、(会館と接していない)右側で行われることが推測されるため、既に考慮されているものと思われる。

(メンバー)

・久木会館のトイレの位置は確定か。2面しかない採光面をトイレに使うのか。

(小林由高ファシリテーター)

・未確定である。前回のWSでアイデアとして提案があったが、例えば会館右側上部にトイレを設置すれば、学童側から発生する音の影響はそこまで大きくならないかもしれない。

(メンバー)

・水回り関係を集約するという事は、調理室も北側(グラウンド側)に設置されるということか。

(小林由高ファシリテーター)

・原則、体育館側の設置となる。おそらく水回りを集約する意図について、コストとリスクの観点からではないか。

(メンバー)

・調理室について、現在は調理室で作ったものを多目的室に持って行って食べるという運用だが、新しい久木会館では多目的室とキッチンが一体化されているものとなって欲しい。

(メンバー)

・会館の利用に当たって、土足か裸足のどちらで利用する方向性になるのか。

(小林由高ファシリテーター)

・現時点では結論は出せないなので、議論が進んでいく中で決めていきたい。例えば市内の地域活動センターでは靴を脱いでの利用が多く、コミセンや交流センターは基本的に土足で

の利用となっている。

③ 新しい久木会館の防災部分における役割及び防災備蓄品

(小林由高ファシリテーター)

・一般的に避難所は被災した人が体育館等集まるイメージだと思うが、例えば届いた物資や避難者名簿の管理を行う事務的なスペースも必要となり、その役割を久木会館が担えるのかもしれない。

(メンバー)

・地域の避難所準備委員会から今後防災についてのアイデアが出る可能性もある。

(小林由高ファシリテーター)

・おっしゃるとおりで、地域のニーズや要望を市に伝えていくのも1つ有効な手段である。

④ 現在の久木会館の備品リスト

(メンバー)

・久木会館にある本については、市の図書館から譲り受けているという経緯である。利用者のニーズによって処分等も考えなくてはならない。

(小林由高ファシリテーター)

・早急というわけではないが、新しい会館に移動する本の量について把握をお願いしたい。

3.ブレインストーミング(メンバーからのアイデア出し)

●主な意見は以下のとおり

【ハード面】

- ・多目的室の付加価値付与(照明の追加設置、音響設備の強化)
- ・オープンスペースの活用方法(集客のキーポイント)
- ・キッズスペースの設置(親子で来れる場所)
- ・ワーキングスペースの設置(書類作業が気軽にできる場所)
- ・無料電源の設置及び開放(民間のカフェのようなイメージ)
- ・設置するトイレの大きさについて

⇒他のスペースとの兼ね合いから小さくするべきという意見が多いが、広いトイレを必要としている人たちもいる。

【ソフト面】

- ・会館として収益を上げていくという考え方
  - ・会館の自主事業について
- ⇒プライベートビューイング、朝市、レンタルボックス貸し出し、雑巾販売等
- ・事務室機能の強化(ラミネーター貸し出し等)
  - ・飲食物等の物品販売

- ・会館のIT化について（SNSの活用等）
- ・無料Wi-Fiの周知について
- ・物々交換（不用品）市場の拠点（不定期開催）
- ・行政サービスの出張窓口機能（住民票交付、包括支援センター窓口等）
- ・利用団体の日々の成果の発表の場（写真展示等）
- ・チラシラックの活用・利用促進
- ・会館予約方法等のIT化

※アイデアの詳細は別紙参照

⇒次回WSでアイデアをさらに深めていくこととした。

#### 4. スケジュール

●スケジュール（会場：久木会館）

○第3回WS

日時：令和5年5月27日（土） 午前10時～

○第4回WS

日時：令和5年6月10日（土） 午前10時～